

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

皆さん、残暑お見舞い申し上げます。このかわら版をお配りしている頃には、アテネオリンピックも佳境に差し掛かっていることと思います。

国内では、有力選手をオリンピックに送り出しているプロ野球も終盤戦です。今年は大ラゴonzの優勝を期待したいですね。頑張れ、ドラゴンズー！(ジャイアンツファンの皆さん、ゴメンナサイ)。

米國政府も岡田さんに興味津々

さて、先月末に、岡田さんと一緒に米国に行ってきました。ケネディスクールのナイ教授(ケリー政権誕生時のCIA長官候補)、日本でもお馴染みのヴォーゲル教授、モンドール元副大統領、リブケン元財務次官などの民主党関係者、及び、スコウクロフト元大統領補佐官、アーミテージ元務副長官、ハドレー大統領次席補佐官、グリーンNSC(国家安全保障会議)部長など、共和党(現政権)関係者、ならびにグリーンズパンFRB(連邦制度準備理事会)米國の日銀)議長と意見交換をしてみました。

皆さん、たいへん熱心に議論に応じて頂き、本当に有意義な訪米となりました。訪米前には、ベーカー駐日大使から「米國政府は、岡田さんからの首相候補として対応しますので、そのつもりで渡米してください」というお話を承りましたが、たしかにそのとおりでした。多くの方々から、

「外交関係は安定、継続が兩國国民にとって最も重要なことです。日本で政権交代が起きても、継続性をもった日米関係が維持できるように協力してください」という要請も受けました。もっともな指摘だと思えます。

外交と内政

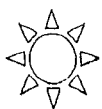
日本が自信をもって外交を行うためには、内政、つまり国内の政治や経済が安定していかなくてはなりません。家の中がガタガタしている、外でいい仕事ができないというのと一緒ですね。

渡米中に、またまた厚生労働省が不祥事を起こしています。先の通常国会では、皆さんの「年金保険料」や「税金」で、厚生労働省が不必要な印

刷物を「選抜エージェンシー」という会社に発注し、その会社から多額の報酬が厚生労働省職員にキックバックされたことを明らかにしました。その際、「これ以上こういうことはないですね」という僕の質問に対して、辻審議官(次の事務次官候補)は「ありません」と明言していましたが、何と、さらに三件の同様の事例が発覚しました。職員にキックバックされている金額は数億円に上ります。

こんなことをしていて年金財政が苦しいと言われても、全く納得できません。「保険料」や「税金」を巡る無駄遣いや不正は、日本の経済を疲弊させています。十月からは年金制度が改悪されますが、秋の国会では引き続きこの問題を追及していく必要があります。

内政の膿みを出し切り、経済を立て直し、自信をもって堂々と外交ができるような国にするために、引き続き、頑張りますー！



覚王山ツクツクコーナー



—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します！ ——

<今回は、「えいこく屋」さんです>

広小路通りから日泰寺参道に入りほどなくすると、右手に見える落ち着いた店構え、これが「えいこく屋」さんの入り口です。

「お客様、ご近所の方々、そしてスタッフに恵まれ、あっという間に26年が過ぎました」と笑顔で語るのは店長の荒川英子さん。今では、「**紅茶とインド料理のえいこく屋**」は名古屋市外でも有名です。

このえいこく屋さん、特別に何か自慢の一品があるわけではなく、むしろ、**誰が来ても必ず美味しいと思えるものが見つかる品揃え**、これが自慢なのだとか。確かに、紅茶とインド料理、といっても、大変種類が多く奥深いものなのです。

また、このえいこく屋さん、一步入ると内装にも心惹かれます。荒川さんは、お店を始めるに当たり、ご自宅の家具や調度品で店内を整え、企画品を一切使わなかったそうなのです。**料理や飲み物だけでなく、内装までも手作りの味**、これがえいこく屋さんの隠れたの魅力なのかもしれません！

えいこく屋：TEL.763-2788

年金制度改悪や厚労省不祥事

「内政が不安定では、いい仕事ができないはずだ…」

